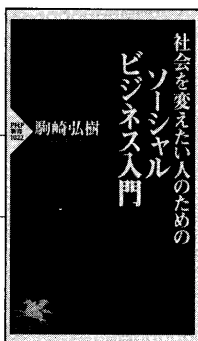




駒崎氏は「フルタイムでNPOを事業として経営する」ための具体的方法を説く。氏は2004年にNPOフロレンスを設立し、日本初の訪問型病児保育サービスを開始した。10年後に待機児童問題解決のため「おうち保育園」を創設し、これが後に「小規模認可保育所」として国策に採用された。視察を受け入れ、「肝」と費用対効果を官僚に伝えて政策化につなげる

ことによって「国に事業をバックしてもらい、社会変革を行う」ことができるというのだ。また、「現実はずっと厳しいよ」と批判する「ドリームキラ」に対しては、「貴重な意見ありがとう。でもまあ、俺はやるけどね」としてスルーするとともに、「1割くらいは「よい批判」があるので、「なんで?」と聞き返し、彼らのライフスタイルを推察し、

駒崎氏は「フルタイムでNPOを事業として経営する」ための具体的方法を説く。氏は2004年にNPO



社会を変えたい人のための ソーシャルビジネス入門

駒崎弘樹 著

886円 PHP新書
☎03-3520-9611

範囲で社会貢献したいという若者の志を大切に受け止めたい。だが、もう一方で、過去の学生は「儲け主義はイヤ」という理由で教員や公務員を目指していたことを思い起こす（今の学生は安定のためだが）。今後は、職業全般が社会貢献につながるという実態と認識を広げていきたいものだ。

（聖徳大学教授・西村美東士）

本書が提唱する「新しい社会貢献」について、筆者は次のように考える。このような手の届く範囲で社会貢献したいという若者の志を大切に受け止めたい。だが、もう一方で、過去の学生は「儲け主義はイヤ」という理由で教員や公務員を目指していたことを思い起こす（今の学生は安定のためだが）。今後は、職業全般が社会貢献につながるという実態と認識を広げていきたいものだ。

ターゲットとすべき人物像を見する。まさに「生きる力」の見本といえよう。

また、このような方法をネット上でも公開している。たとえば、「本格的な準備をしよう（情報編）」では、グーグルなどの活用により無料でチーム内外への情報発信をする手段を紹介する。ネット社会において安価な発信手段が拡大していることを、教員も知っておく必要がある。